

第2部

服薬アセスメントをしてみよう

～利用者さんは薬のことで
困っていませんか!?!～



一社) 湖北薬剤師会
プレゼンテーションチーム

このセクションの目標

- ✓ 利用者さんが薬のことで困っていないかアセスメントできるようになる
- ✓ アセスメントシートの活用法を知り明日からの業務に活かせる
- ✓ どの職種につなぐかを検討できるようになる

ワークについて

・事例の紹介 — 約3分



・アセスメントしてみる — 約3分



・事例の解説 — 約7分

☆ Q&Aは最後にまとめて

事例 1 ～紹介～

年齢：80歳 性別：女性

介護区分：介2（A1・Ⅱb）

世帯の状況：独居

【概況】

認知症の進行に伴い飲み忘れが増え、持病（糖尿病など）の悪化で入院。

服薬の自己管理が困難のため服薬カレンダーにセットしても正しく服薬できず飲み忘れが目立つ。嚥下機能が低下し、錠剤の服用が難しいため粉砕されたものを服薬している。

アセスメントシートを基に事例を

考えてみましょう

- お薬はどれくらい余っていますか
- 困っていることはなんですか
 - 1 飲み込みにくさ
 - 2 効きめ
 - 3 保管、飲み忘れ
 - 4 その他

アセスメントしてみよう

事例 1 ～アセスメント～

【概況】

2 効きめ

- どれが何に効く薬かよくわからない

3 保管、飲み忘れ

- 飲み忘れてしまうことがある
- いつ、どれを、どれだけ飲んだらいいかわからない

飲み忘れが増え 持病（糖

入院。

難のため

・お薬はどれくらい余っていますか

- かなり余っている
- 薬によっては少し余っている

にセットしても正しく服薬でき

1 飲みにくさ

- 飲み込みにくい

4 その他

- その他のことに困っている
自ら服薬することが難しいので
常に誰かの見守り・声掛けの下
服用する必要がある

錠剤の服用が難しいため粉

している。

事例 1 ～対応～

アセスメントの結果、以下の対応をすることとなった
＜連携先＞ **薬剤師、医師、デイサービス**

- ・ 用法をシンプルに（3回／日 → 2回／日に）
- ・ デイサービス（DS） 利用時に服薬
- ・ 嚥下機能低下のため剤型変更を医師に提案し、散剤とOD錠へ変更した。「OD錠だが溶けにくい」との情報があったため、OD錠も粉砕

DSを利用している平日（5日間）は確実に服用できるようになり、病状が安定

事例2 ～紹介～

年齢：75歳 性別：女性

介護区分：介1（J2・Ⅱa）

世帯の状況：家族同居（離れで起居）

【概況】

定期薬に加えて頓服薬も数種類ある。不調がみられると近くのドラッグストアで一般用医薬品を購入して使用する。

薬の種類が沢山ある上、認知機能も低下しているため何の薬か、いつ服用するものか分からなくなっている。一般用医薬品には期限切れのものも見受けられる。

アセスメントシートを基に事例を

考えてみましょう

- お薬はどれくらい余っていますか
- 困っていることはなんですか
 - 1 飲み込みにくさ
 - 2 効きめ
 - 3 保管、飲み忘れ
 - 4 その他

アセスメントしてみよう

事例2 ～アセスメント～

【概況】

定期薬に加えて頓服薬

2 効きめ

- ☑ どれが何に効く薬かよくわからない

3 保管、飲み忘れ

- ☑ 飲み忘れてしまうことがある
- ☑ いつ、どれを、どれだけ飲んだらいいかわからない

1 周がみ

を購て使用する。

で一般用医薬品

薬の種類が沢山ある上、認

・お薬はどれくらい余っていますか

- ☑ かなり余っている
- ☑ 薬によっては少し余っている

るため何の薬か、いつ服用するかわからなくな

くなっ

1 飲みにくさ

- ☑ 見分けにくい

4 その他

- ☑ その他のことに困っている
自己判断で一般用医薬品を購入し、服用している(相互作用)

のも

のも見

事例 2 ～対応～

アセスメントの結果、以下の対応をすることとなった

＜連携先＞ **薬剤師、訪問看護師**

かかりつけ**薬剤師**として訪問。まずは**残薬を整理**した。個々の薬の用途用法を説明して薬袋に記入。

O T C 医薬品は期限切れのものを処分してもらい、**服用してよいものといけないものを区別**して説明。

定期薬と頓服薬については**訪問看護師**が週 1 回訪問して「お薬カレンダー」に薬をセットする。

服薬の問題はほぼなくなり、薬に対する不安も解消。体調は安定している。

事例3 ～紹介～

年齢：73歳 性別：女性

介護区分：介3（B1・I）

世帯の状況：家族同居（夫・長男）

【概況】

重度のパーキンソン症にて1 1時点／日服薬あり。神経内科受診時2ヵ月分処方で訪問看護師が薬を仕分けするも時点毎にきちんと服用できない。仕分けにも1時間以上要するため、看護師の仕事に支障を来している。

加えて精神科、整形外科、往診医の処方もあり管理に苦慮している。

アセスメントシートを基に事例を

考えてみましょう

- お薬はどれくらい余っていますか
- 困っていることはなんですか
 - 1 飲み込みにくさ
 - 2 効きめ
 - 3 保管、飲み忘れ
 - 4 その他

アセスメントしてみよう

事例

スメン

【概

- 1 飲みにくさ
- 毎日飲むのが面倒だ大変だ

- ・お薬はどれくらい余っていますか
- かなり余っている
- 薬によっては少し余っている

重度

- 2 効きめ
- どれが何に効く薬かよくわからない

1 1時点/日

り。

カ月分処方

が薬を仕分けするも時点毎にきちんと服用でき

ない。仕分けにも1時間以上

師の仕事に支障を来している

- 3 保管、飲み忘れ
- 飲み忘れてしまうことがある
- 飲んだか分からなくなる
- いつ、どれを、どれだけ飲んだらいいかわからない

加ラ... 内科 整形外科、往

- 4 その他
- その他のことに困っている訪問看護師が仕分けに時間を取られ、本来の仕事ができない

- 4 その他
- その他のことに困っている複数科あるので、管理不可能に

事例3 ～対応～

＜連携先＞ 薬剤師、医師、訪問看護師

当初多数あった残薬を預かり、処方的都度日数調整して消尽することで残薬を解消。

精神科、整形外科、往診医の内服薬も定期薬と共に分包するなどして服薬管理を容易にした。

本人が服用しやすいよう、火・水・木・金：配薬ケース、日・月・火：チャック袋に小分け。生活スタイルに合わせた方法で服薬管理することとした。【写真参照】

また、頓服薬は0.5～1Tで自ら調整するが、半割しやすい剤型に変更してもらう。

薬剤師が介入することで患者さんの生活スタイルに合わせた管理方法でアドヒアランス向上につながり、本人の服薬もかなり容易になった。

【準備段階】

配薬ケースから取り出しやすいよう
服薬時点ごとに分包または葉に貼付



【配薬後】

11回／日
服薬時点があるため
配薬ケースを縦に利用



ポイント／Q&A

- ・ **問題点があることに気付く**
利用者さんが困っていないか？ = 問題点があることに気付きましょう
- ・ **アセスメントする**
利用者さんに「くすりのコミュニケーションシート」を活用してもらいアセスメントをしましょう
- ・ **連携先を持つ**
問題点はどこに相談したらよいかを知りこまめに連絡しましょう

以上で第2部を終了します。

お疲れさまでした。

Next ⇒ Closing part